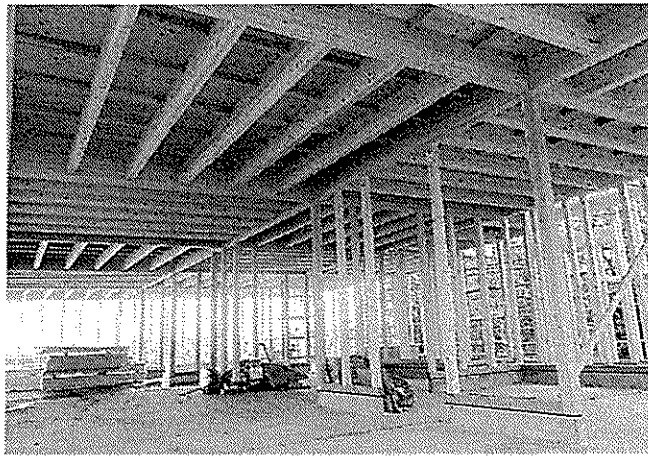


# 静岡・沼津市内に誕生 軸組工法による木造工場棟

工藤建設とマルダイが連携

工藤建設（静岡県沼津市、工藤克敏社長）は、沼津市内で木造の民間工場棟の建築を進めている。軸組工法に構造用集成材を活用して大空間を実現しており、構造設計や木材調達、プレカットはマルダイ（同富士市、深沢裕一郎社長）が担当している。完成は3月末の予定だ。



建築中の塚田精機足高工場

同施設は超音波機器等の部品製造等を手掛ける塚田精機の足高工場で、沼津市足高字尾上で建築中。木造2階建て（延べ床面積99

0・4平方メートル）で、梁

・桁、柱材には欧州アカ松及び米松の構造用集成材、米松KD材を使用し、部分的に金物工法も併用した。また

2階床や屋根下地等には構造用合板を全面的に使用。構造全体では約125立方メートルの木材を活用している。当初予定は鉄骨構造だったが、木造提案が建築主に認められ、沼

津地区ではほとんど例がない木造軸組工法の工場棟が実現した。特徴は、長年の実績がある軸組工法と一般流通材である構造用集成材を使用することでコストを抑えている点。

工藤社長は「木造の工場建築は初めて手掛けたが、良い実績になった」と述べ、今後も非住宅を含めて多様な木造物件を供給していきたいと話している。